

1月番組表



自主放送スタジオ (☎ / IP ☎ 82・2497)
※番組内容及び、放送時間は予告なく変更される場合があります。
ご了承ください。

時	番組内容
6	まちの話題 ホットニュース
7	宇陀市政なう・特別番組 お知らせ(静止画)
8	お知らせ(音声付き静止画) ストレッチ/タオ身体操/お天気カメラ
9	まちの話題 ホットニュース
10	宇陀市政なう・特別番組 お知らせ(静止画)
11	お知らせ(音声付き静止画) うきうきダンス/お天気カメラ
0	まちの話題 ホットニュース
1	宇陀市政なう・特別番組 お知らせ(静止画)
2	お知らせ(音声付き静止画) すきまエクササイズ
3	お知らせ(静止画)
4	いきいき歯ッピー体操/お天気カメラ
5	お知らせ(静止画) お知らせ(音声付き静止画)
6	まちの話題 ホットニュース
7	宇陀市政なう・特別番組 お知らせ(静止画)
8	ピカピカはみがきのうた/うきうきダンス ウェルネスうだ体操【すきまエクササイズ・エアロ】
9	まちの話題 ホットニュース
10	宇陀市政なう・特別番組 お知らせ(静止画)
11	まちの話題 ホットニュース
0	宇陀市政なう・特別番組 お知らせ(静止画)



令和元年 12月1日現在
※()内は前月比

総数	29,825人 (-15)
男	14,263人 (-20)
女	15,562人 (5)
世帯数	12,925世帯 (24)

番組内容	1日～10日	11日～20日	21日～末日
ホットニュース	○パパと遊ぼう ～親子で体操しよう～ ○田口の郷 光のキャンパス～イルミネーション～	○だまされない防犯学習会と世代間交流の集い ○歯と口の健康に関するポスター・標語コンクール 表彰式	○宇陀市消防団年末特別警戒出発式 ○うたの初詣めぐり～スタンプラリー～
宇陀市政なう	市の取り組みや行政情報		
特別番組	野菜たっぷりクッキング 冬野菜の豆乳グラタン ○宇陀市選奨式(総集編)	○図書館今月のイチオシ ○万葉集と宇陀	○知る・見る・なるほど Enjoy宇陀
まちの話題	○新春を迎えて ○第4回 神武天皇縁の地巡り ○地域安全ふれあい餅つき大会	○音楽の森ほっこりコンサート ○第48回 かぎろひを観る会	○アウトドアクッキング ○三世代交流ふれあい餅つき大会 ○伊勢神宮参拝ウォーカーへのおもてなし
はみがきのうた	菟田野保育所	榛原北保育園	榛原幼稚園

※広報うだ 10月号に掲載しました、「わが家のアイドル」の写真をホットニュース後に放送します！



From: ベス
(大宇陀中・菟田野中)



綺麗な紅葉でした

あけましておめでとうございます！
皆さんはどんなお正月を過ごしていますか。私は久しぶりにイギリスに帰り、家族や友達に会います。みんなに日本の生活の話をしたいと思っています。とても楽しみです。
11月末に、京都の宇治を訪れました。平等院と宇治上神社と興聖寺に行きました。興聖寺の紅葉は特に綺麗でたくさん写真を撮りました。せっかく京都に来たので、抹茶を飲んでみましたが、甘い物が好きな私にとってはちょっと苦かったです。でも、福寿園の抹茶ぜんざいはとてもおいしかったです。
源氏物語ミュージアムでは平安時代について、たくさんのかたを勉強しました。皆さんは源氏物語を読んだことがありますか？私は読んだことがないのですが、読みたくなりました(^ ^)
今年も1年よろしくお祈りします。

輝かしい新春を迎えました。今年も広報うだをよろしくお祈りします。▼さて、近年、自転車による事故は後を絶たず、高額な賠償請求事案も発生しています。▼奈良県では先の10月に「自転車乗車時の65歳以上の高齢者の乗車用ヘルメットの着用」の努力義務化、「自転車損害賠償責任保険等への加入義務化」の2つがあります。これらについては、4月1日より施行されます。▼自転車は正しく利用しなければ危険な車両。皆さんもこのことを十分認識し、ルールを守って安全に利用しましょう。



ウッピー編集員が、時どきの想いを綴ります

宇陀を駆けつけた人々

山田安民 篇 2

教育の先駆者

山田安民は、教育にも尽力しました。日本の視覚・聴覚障がい者に対する教育は、京都、次いで東京で開始されました。その後、各地の有志によって、視覚・聴覚障がい者のための学校が設置されていきました。しかし、奈良県では、県議会が施設の設置を建議(明治38年/1905)したものの、財政難のため実現しませんでした。このため、安民は、私財を投じて奈良県最初の盲ろう教育施設を創設しました。大正9年(1920)、「私立盲啞学校」を設立し、学校の経営を財政面から支えました。当初、日本聖公会奈良基督教教会(奈良市)の2階の部屋を借りて、盲児4人で始まりました。

その後、昭和6年(1931)には、奈良県に移管され、「奈良県立盲啞学校」(現在の県立盲学校・県立ろう学校)と改称されました。安民によって学校が創設された日

本聖公会奈良基督教教会の入口には、奈良県立盲学校同窓会によって、「奈良県における障害者教育発祥の地」と刻まれたプレートが掲げられています。
このように奈良県立盲学校は、大正9年を創設とし、今年には創立100周年を迎えます。安民の思いが今に伝えられています。
「信天堂山田安民薬房」を引き継いだ長男の輝郎は、昭和24年(1949)、社名を「ロート製薬(株)」に改組し、社長に就任しました。輝郎も父と同様、故郷の教育に尽力し、小学校や文化センターなどの建設に尽力しました。

文・柳澤一宏(文化財課)



初春に想う

「一年の計は元旦にあり」なんて言えば、あなた年齢は？と返ってきそうですね。とはいっても、年賀状は、初春、迎春が多く使われています。そうです、お正月は春を迎えること、と考えられています。春は夢や希望、期待が淡くふくらむ気分になります。

さて、皆さんは近年お正月を迎える風景が、様変わりしてきたと思いませんか。どこが変わったのでしょうか。例えば、子どもたちが、たこあげ、羽ねつきなどをしている姿は、見かけません。新しい年を迎えた気分を満喫しているのでしょうか。年齢、年代にもよるでしょうか、年末のもちつき、おせち料理づくり、除夜の鐘、元日へというかつての流れが、あまり感じなくなっている気がしませんか。

これから先、新年・新春はどのように変わっていくのでしょうか。かつての風景が影をひそめていくにつれ、人の



心、人と人との結びつきまで変わっていくのではないかと、ということが心配でなりません。初日の出を見ながら、思い出の数々を思い浮かべ、「よいし、今年は・・・」と胸ふくらませつつ、一年の幸せを願いたいものです。そのためには、たくさんの人たちとの新たな出会いを通して、共に認め合い、共に生き、共に暮らしていることを確かめあうことが大切です。これが「人権」の原点であり、「人権のまちづくり」を進めることではないでしょうか。
先が見えない、読めない時代だからこそ、「人権」の原点を見失うことのないようにしたいものです。